

# ●●●● 平成27年度 全国老人福祉施設研究会議 ●●●●

今年の2月に広島市老人福祉施設連盟主催の事例研究発表会に、当法人より7事業所が参加し、4事業所が中国大会への参加に選出されました。その中で、慈光園・特養の「めざせ！みんなでキャリアアップ！！」の事例研究が全国大会の切符を射止めることとなり、応援団と共に山形県まで足を運びました。

日 程 : 平成27年10月6日・7日

場 所 : 山形市ビッグウイング

内 容 : 1. 現場の声が制度をつくる ～介護現場に求められるもの～

2. 目標達成へのプロセス ～ソーシャルフットボール～

3. 福祉の魅力を発信する方法 ～本質は現場にある～



知名度の低かった日本の女子サッカーを金メダルに導いた佐々木則夫監督の講演では、「なでしこ」の名前の由来と共に、「なでしこらしさ」について熱く語られました。

その「なでしこらしさ」とは、サッカーの技術や知識が優れているだけでなく、明るく謙虚で、芯が強く礼儀正しい、ひたむきさを兼ね備えた人間力の高いことを指し、そのプロ集団とし、「なでしこらしい選手を育てよう」とのビジョンを掲げたとのことでした。

慈光会でも、介護の技術や知識だけでなく、他者の話に耳を傾ける素直さ、常に前向きで自己研鑽を惜しまない誠実さ、そしてお年寄りを敬い他者を思いやる優しさを兼ね備えた「慈光会らしさ」を大切に、慈光会らしい職員を育てていきたいと念じてやみません。